

会長挨拶

一般社団法人日本ペインクリニック学会
第 6 回中国・四国支部学術集会

会長 大下 恭子

広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院 麻酔科

2026 年 2 月 7 日に広島大学霞キャンパス内凌雲棟におきまして、日本ペインクリニック学会第 6 回中国・四国支部学術集会を開催させていただくことになりました。広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院麻酔科の大下恭子と申します。

今回のテーマは「Sustainable development of Pain Clinic」といたしました。

私が考えるペインクリニックの持続可能な発展とは、神経ブロックを中心とした確かな技術を絶やすことなく次世代へ継承していくこと、多診療科・多職種が連携し協働して診療にあたること、そしてペインクリニックに関心を持つ方々を増やし、裾野を広げていくことです。

最近 30 年間に基礎研究による痛みのメカニズムの解明が進み、さらに臨床研究に基づいたガイドラインが整備されてまいりました。しかしながら、慢性痛の診療はいまだ一筋縄ではいかず、痛みの背景には身体的要因のみならず、心理社会的要因や日常生活活動度など、多様な側面が関わっていることを日々実感しております。本学術集会は、一人ひとりの患者さんと真摯に向き合い、治療を模索されている先生方と議論を重ね、日常臨床で得られた貴重な経験や知見を共有できる場にしていきたいと存じます。

また、日本を代表する先生方をお招きし、様々な痛みへのアプローチについてご講演いただく予定です。明日からの臨床に役立つ実りある学びの場となりますよう、鋭意準備を進めております。多くの皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。